

事業名：高齢者・身体障害者除排雪サービス経費

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	05 高齢者福祉の充実								
基本事業	02 介護予防と自立生活の支援								
開始年度	昭和61年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
70歳以上の市営住宅入居者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅居住者のうち、市民税非課税世帯の70歳以上の世帯等で、除雪が困難な方について、除雪業者に委託し、災害時の避難路を確保するため玄関から公道までの通路を除雪する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢者や障がい者が冬期間も安心して地域で暮らせるようにし、自立生活を可能とする。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	70歳以上の市営住宅居住者数	人	535	544	549	—
対象指標2						
活動指標1	申請件数	件	62	69	64	—
活動指標2						
成果指標1	利用世帯数	世帯	62	69	63	76
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,829	1,805	2,215	2,526
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	2,230	2,206	2,606	2,917

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上のみで構成される市民税非課税世帯で除雪が困難な世帯を対象に、約80cm幅の玄関から公道までの避難路を除雪する。 ・除雪事業者に上記を委託する。 	除雪業者への委託料 2,215千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
高齢化が進み、自力で除排雪ができない世帯が増加している。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>高齢者の自立生活を支援し、介護状態となる事態を予防する上で、冬期間の住環境の改善を図ることは重要であり妥当。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>冬期間の安全を確保し、安心して自宅で過ごせることになるため、介護予防、自立生活を支援する上で貢献度は大きいですが、対象が限られる。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>冬期間でも安心して生活ができるため、高齢者の在宅生活支援に役立っている。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>対象者は市営住宅居住者に限定されており、利用者数が大きく増えることはないため、向上の余地は少ない。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>冬期間の降雪量による出勤回数に応じて委託料を支払っており、現状以上のコスト削減余地はない。</p>